

清水高原のまわりの高速道路を一周

2014年4月15日

澤田 繁 著

清水高原を朝6時半に出発しました。松本の89歳の母をむかえに行き、まずは松本インターで長野道にのりました。

長野道を南下して、塩尻北・塩尻・岡谷インターを通過し、トンネルを抜けると谷に高く長い橋を渡ります。何年も前になりますが、この橋の工事を何度も見に来ました、まずは橋脚がたち、橋げたが橋脚の上部から両側にほぼ均等に伸びていく・・・圧巻の景色だった事を憶えています。

中央道が全線開通したのが1982年になります。松本地方も、高速道路の幕開けとなり、東京・名古屋方面に行くには、私用はほとんど車になりました。



＜美濃加茂・昭和村＞

k mを走り、美濃加茂JCTで東海北陸道に入り、昼のうなぎを期待しながら、郡上八幡のうなぎ屋さんで到着しました。母も満足してくれた「うなどん」でした。

美濃加茂JCTから小矢部栃波JCTまでは153.4k m、全線開通したのが2008年の東海北陸道を、極めてトンネルの多い区間を走り南栃スマートで休憩して初日最後の高速に備えました。北陸道の朝日インターで降り、目的地に4時前に着きました。小川温泉で1泊。

次の日、かまぼこ等の買い物の付き合いをして帰路に着きました。小矢部栃波JCTから上越JCTまで148.1k mは1988年全線開通の北陸道を走り、上信越道に入り少しいったところの新井ハイウェイオアシスで休憩、新井の魚屋さんで「なかおちが出たよ」の聞き慣れない声に、つい購入してしまいました。実は骨付きのまま自分で中落ち肉を取るしろものでした。

1999年開通の上信越道を85.2k m走り更埴JCTで1993年開通の長野道(75.8k m)に入り、松本インターで一週して無事帰宅しました。

<http://www.go.tvm.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>



今回は、昨年なくなった親戚のお参りが目的ですがうなぎの好きな母に、郡上八幡のうなぎを食べてもらおうと思いましたが、だいぶ遠まわりの道順になりました。

中央道を140.7k m走り、土岐JCTから東海環状道に入り、途中、美濃加茂ハイウェイオアシスに車を止め昭和村に入って、休憩を兼ねながら、いろいろ見て廻りました。

昭和村を出たのが11時過ぎ、土岐JCTから33.2

